

第54回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	森本ゼミ	チーム名	PoPo
タイトル	地域の発展～岡本商店街×甲南生のコラボ～		
テーマ群	c) 公共経済 e) 産業・企業		
メンバー	篠原大輝、杉田優汰、光井陽和、山田梨那、森戸凜花、北尻有美		
研究計画内容	<p>【研究背景】</p> <p>岡本を発展させるため、私たちは地域全体の活性化は難しいと考え、まず1店舗を発展させ周りにも良い影響を与えることを目指すことにした。その中でも、流行りのベーグルで人気のある「popobage1」様にお声掛けしたのは、オープンしたばかりにも関わらず校内で話題となり、実際に訪れた際にベーグルの美味しさやお店の雰囲気を感じたからだ。また、岡本商店街復興組合の理事長をされている方が通学路に位置する店舗を新たにオープンしたこともあり、データを取りやすい状況にあった。しかし、大学が多いにも関わらず学生の来客数が少ないという課題が見られた。私たちのチームは岡本商店街の発展について研究を進めており、まずは1店舗の発展を通じて地域復興に繋がりたいと考えている。商店街復興のために、甲南大学と連携し活動を行うことで、私達大学生が店舗にどのような影響をもたらすのかを明らかにしていく。</p> <p>【研究内容】</p> <p>初めに学生がどのような店に魅力感じ訪れようと思うのかのアンケートを甲南学生500人を取り、明らかにした。次に、アンケート結果を店舗に伝えアイデアを提案し店舗改善に協力した。次に文化祭で店舗と協賛し、出店し学内での知名度を上げた。アンケート前、店舗改善後、文化祭後の売上を比較し学祭と店舗が協賛する事店舗の売上が上がることを明らかにした。</p> <p>【期待される効果】</p> <p>この取り組みにより、「popobage1」の認知度がさらに向上し、学生をはじめとする新たな顧客層の来客が期待される。1店舗の成功が他店舗への波及効果を生み、岡本商店街全体の活性化に繋がる可能性が高まる。また、大学との連携による地域貢献活動が広がり、地元の商店街と学生の繋がりが強化されることで、持続的な発展と地域経済の活性化が実現されるだろう。</p> <p>【参考文献】</p> <p>なし</p>		